

神田キャンパス レポート4

古書店街編

2020年6月3日

近隣の古書店街も、
6月になって、
店を開け始めました。

専大から最も近い
「松雲堂」さん。



漢籍や和本が、
比較的安く
入手できます。

私は、
大学生のころ、
和本の綴じ方を
このお店で
習いました。



外壁まで書棚になっているのが、
神保町の本屋の特徴のひとつ。

「矢口書店」さんは、
雑誌やテレビで、
よく紹介されます。



店頭でワゴンで販売
される特価本も
古書店の醍醐味。

不良在庫の新本が
売られることもあり、
それを「ゾッキ本」
といいます。



日本語学科の
王伸子先生は、
なんと、
相撲部部長！！

王先生、
全部まとめて
いかがですか？



専大前交差点から、
神保町交差方面を
見ると、

古書店は、
靖国通りの右側に
集中しています。

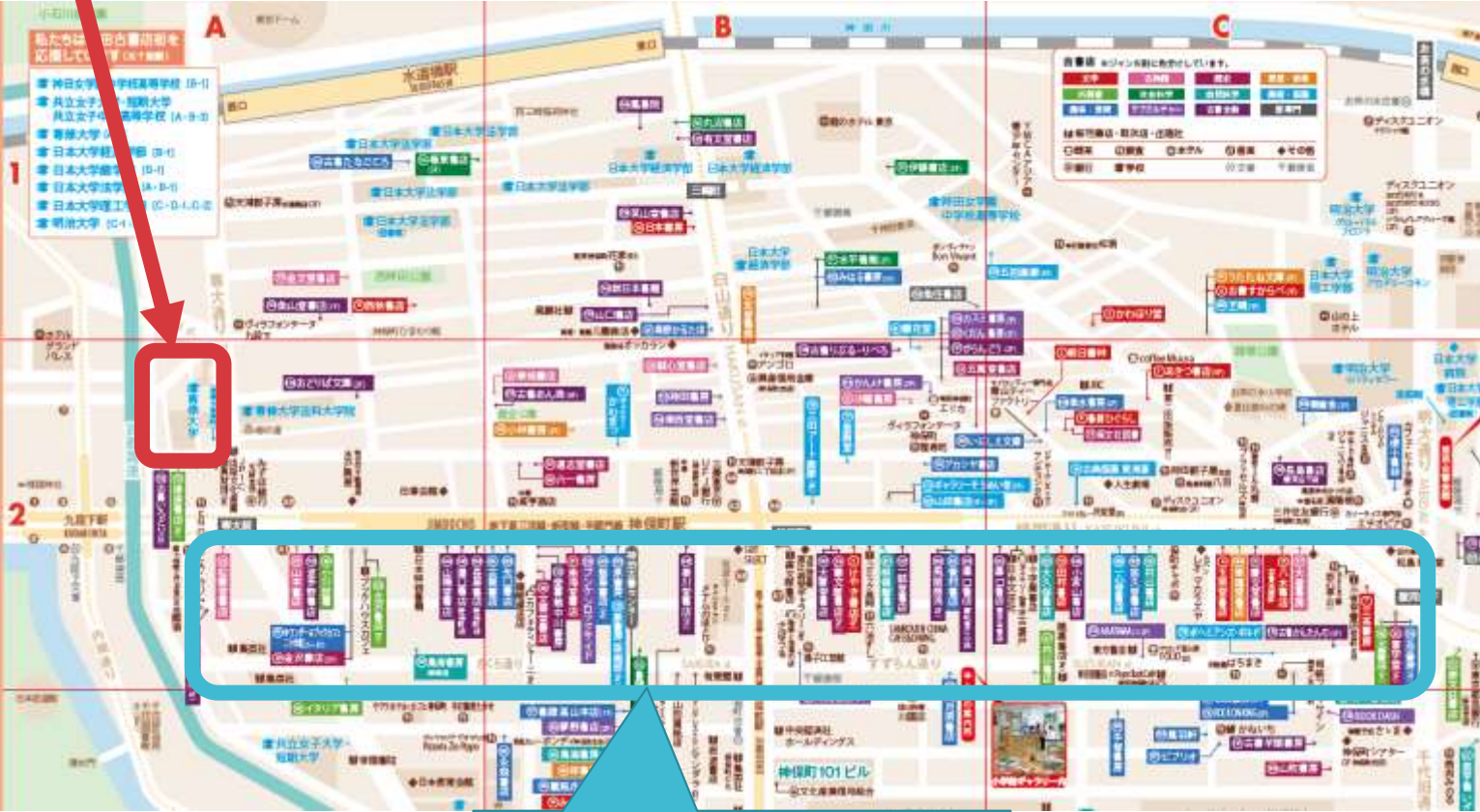


専修大学

古書店マップだと、
こんな感じ。

ここで、第3問。
なぜ、古書店は、
通りの南側に集中？

答えを
考えてみましょう。



通りの南側に集中！

答えは、

「直射日光による、
本の劣化を防ぐため」